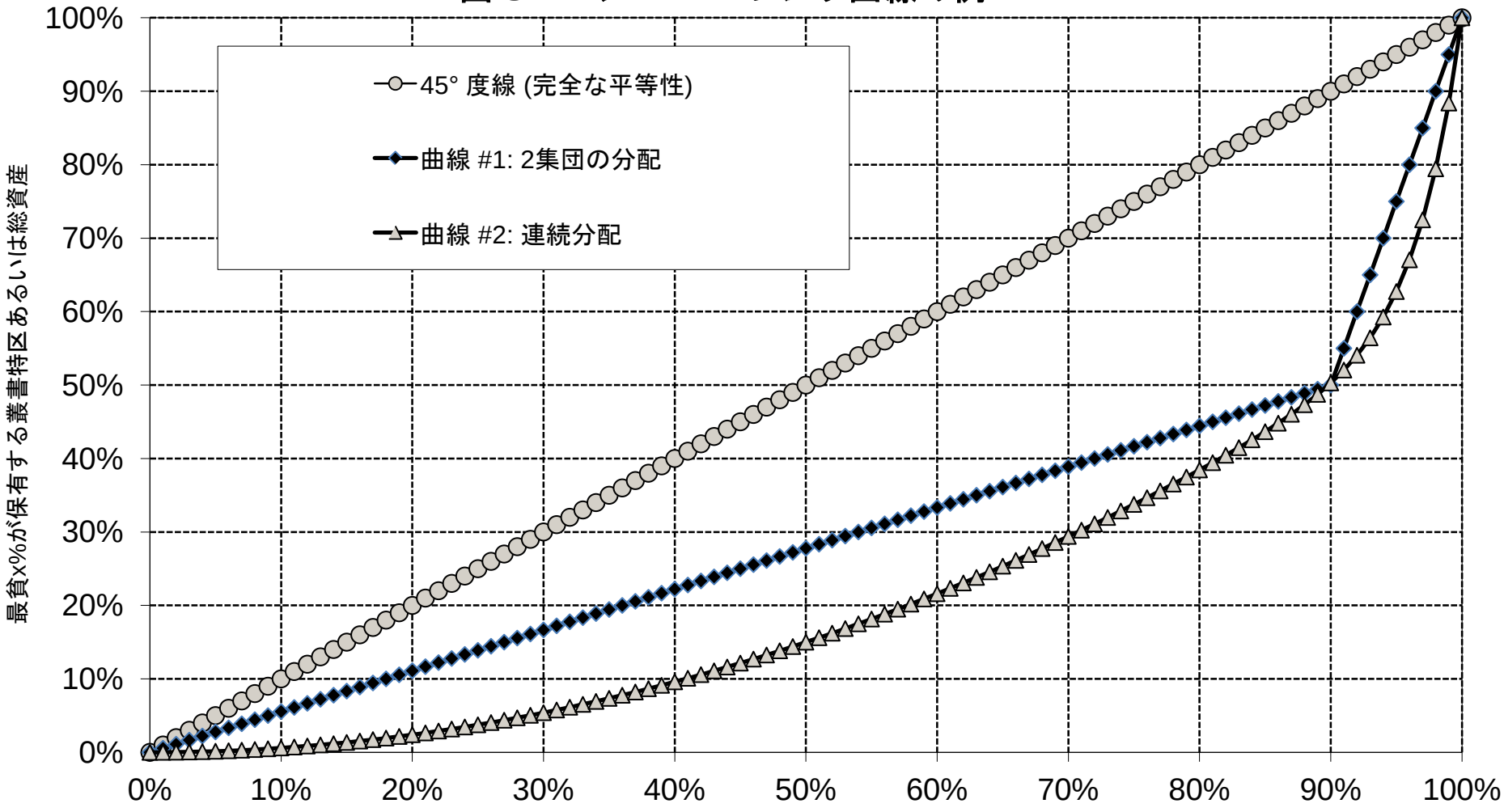
図 S7.1. ジニ-ローレンツ曲線の例



曲線1は、最貧90%と最も豊かな10%がそれぞれ総所得や総資本の半分ずつを保有すると想定し、両集団とも均質だと仮定している(だから直前になる)。曲線2は連続的な分配を想定している。